

## 令和7年度 第1回 中部地方整備局事業評価監視委員会 における意見・質問への対応

| 項目                        | 意見・質問                                                              | 対応                                                           |
|---------------------------|--------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|
| 【道路事業】<br>令和7年度から<br>の変更点 | 原単位の更新について、小型貨物車における時間価値が従前よりマイナスとなっているのはなぜか。                      | 変動要因を各委員へ説明し、了解を得た。                                          |
| 一般国道 41 号<br>石浦バイパス       | 費用便益比算定上の供用年の見直しがある場合は、説明資料に明記すること。                                | 明記することを各委員へ説明し、了解を得た。                                        |
| 一般国道 153 号<br>飯田南バイパス     | 交通事故減少効果の指標を揃えるべきではないか。                                            | 周辺道路を含めた死傷事故件数の変化を示すことを基本とし、各委員へ説明し、了解を得た。                   |
|                           | 費用対効果分析にあたり、人口減少や高齢化の影響がどのように反映されているのか。また、飯田市内ではどの程度のゾーン区分としているのか。 | 人口減少や高齢化の影響は、発生集中交通量の推計段階で考慮していること、飯田市内のゾーン区分を各委員へ説明し、了解を得た。 |
|                           | 費用対効果分析における有効数字の考え方を教えて欲しい。                                        | 統一ルールを各委員へ説明し、了解を得た。                                         |
|                           | ルート周辺の貴重種に対する調査・保全内容等を教えて欲しい。                                      | 事前調査に基づいた、貴重種の生息状況や予定保全措置内容を委員へ説明し、了解を得た。                    |